



2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年10月31日

上場会社名 富士紡ホールディングス株式会社
コード番号 3104 URL <https://www.fujibo.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 井上 雅偉
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 佐々木 辰也 TEL 03-3665-7612
四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 2023年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 アナリスト・機関投資家向け。決算説明動画(録画)配信予定

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	17,098	12.8	917	72.6	1,262	62.9	896	61.1
2023年3月期第2四半期	19,609	11.4	3,343	6.3	3,406	5.4	2,307	2.3

(注)包括利益 2024年3月期第2四半期 1,373百万円 (47.0%) 2023年3月期第2四半期 2,589百万円 (13.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	78.20	
2023年3月期第2四半期	201.31	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	60,786	43,685	71.9
2023年3月期	61,368	42,920	69.9

(参考)自己資本 2024年3月期第2四半期 43,684百万円 2023年3月期 42,920百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		55.00		55.00	110.00
2024年3月期		55.00			
2024年3月期(予想)				55.00	110.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,100	4.2	2,950	39.5	3,350	33.6	2,200	35.3	191.77

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

注)詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期2Q	11,720,000 株	2023年3月期	11,720,000 株
2024年3月期2Q	245,677 株	2023年3月期	252,579 株
2024年3月期2Q	11,470,388 株	2023年3月期2Q	11,463,008 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2023年11月7日(火)にアナリスト・機関投資家向けに決算説明会を開催する予定です。開催後、決算説明の概要を録画した動画及び説明会資料を当社ホームページにて公開する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進み、景気は緩やかに持ち直しております。しかしながら、混迷が長期化するロシア・ウクライナ情勢に起因する原材料価格やエネルギーコストの高騰、急激な為替変動による物価上昇など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経営環境の下、当フジボウグループは、中期経営計画『増強21-25』において、計画期間5年間の前半3年を「高収益体質への転換と種まき」ステージと位置づけ、各事業の成長基盤の増強に取り組んでおります。計画3年目となる当期については、事業の柱である研磨材事業は、半導体用途の需要が大幅に減少しており、1年近く続いた世界的な半導体市場の縮小に底打ち感がみられるものの、依然厳しい状況が続いております。化学工業品事業は、中国経済の低迷に加え、電子材料を中心とした市況悪化に直面し、一段と厳しさが増しました。生活衣料事業は、より収益性の高い製品への絞り込みと、コストアップに対応した価格転嫁を行いました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比2,510百万円(12.8%)減収の17,098百万円となり、営業利益は2,425百万円(72.6%)減益の917百万円、経常利益は2,144百万円(62.9%)減益の1,262百万円となりました。これに特別損益、法人税等を加減した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比1,410百万円(61.1%)減益の896百万円となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

①研磨材事業

主力の超精密加工用研磨材は、シリコンウエハー用途および半導体デバイス用途(CMP)などは、半導体市場の一部分野では底打ちの気配がみられるものの、依然として在庫レベルが高水準にあり在庫調整が続いていることから、需要が低迷し、大きく受注が減少しました。ハードディスク用途は、パソコンおよびデータセンター向けの需要減退により、受注は減少しました。また、液晶ガラス用途においてもデジタル機器の需要低迷によるパネルメーカーの急激な減産調整の影響を受け、受注が減少しました。一方、電気自動車(EV)をはじめとする車載向けやデータセンター向けに利用されるパワー半導体などの分野では、旺盛な需要が継続しております。

この結果、売上高は前年同期比2,786百万円(32.7%)減収の5,721百万円となり、営業利益は2,024百万円(92.9%)減益の154百万円となりました。

②化学工業品事業

一部の機能性材料、医薬中間体および農薬中間体などの受託製造は、海外生産リスクの顕在化による化学工業品生産の日本国内回帰の傾向が続き、堅調に推移しました。一方で化学業界全体は、世界的な需要の減退に加え、半導体を中心とした電子材料市況の悪化により厳しい事業環境となっており、全体としては受注が減少しました。原材料・エネルギー価格高騰による製品コスト上昇部分については、価格転嫁を実施しました。

この結果、売上高は前年同期比255百万円(4.2%)増収の6,386百万円となり、営業利益は359百万円(51.2%)減益の342百万円となりました。

③生活衣料事業

繊維素材は、ロシア・ウクライナ情勢を要因とした原油価格上昇に伴う物流や原材料のコスト高に加えて、円安に伴う部材調達や海外製造コストの高騰が更なる追い打ちをかけ、厳しい環境が続きました。繊維製品は、店頭販売では、より収益性の高い製品への絞り込みにより堅調に推移しました。また、ネット販売では、多様化する顧客ニーズや市場動向に応じ、デジタルマーケティングを強化することで堅調に推移しました。

この結果、売上高は前年同期比182百万円(5.0%)減収の3,449百万円となり、営業利益は16百万円(4.1%)減益の384百万円となりました。

④その他

化成部品部門は、医療機器用部品では、医療用プラスチック市場の回復傾向により受注が増加しましたが、デジタルカメラ用部品では、半導体不足の影響を受け、受注が減少しました。金型部門では、自動車向け金型は苦戦しましたが、金型子会社がグループ入りしたことにより売上高が増加しました。貿易部門では、より収益性、安全性の高い取引を対象を絞ったことに加え、代理店営業の有効活用により、収益性の改善に取り組みました。

この結果、売上高は前年同期比202百万円（15.1%）増収の1,541百万円となり、営業利益は26百万円（41.9%）減益の36百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

資産合計は前連結会計年度末に比べて582百万円減少の60,786百万円となりました。

流動資産は410百万円減少の22,592百万円となりましたが、これは受取手形及び売掛金や棚卸資産が増加しましたが、現金及び預金やその他流動資産が減少したことなどによります。

固定資産は171百万円減少の38,194百万円となりましたが、これは減価償却により有形固定資産が減少したことなどによります。

(負債)

負債合計は前連結会計年度末に比べて1,346百万円減少の17,101百万円となりました。

流動負債は1,599百万円減少の10,269百万円、固定負債は253百万円増加の6,832百万円となりました。これは、未払法人税等や設備関係支払手形などのその他流動負債が減少したことなどによります。

(純資産)

純資産合計は前連結会計年度末に比べて764百万円増加し、43,685百万円となりました。これは、剰余金の配当による減少が630百万円ありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加が896百万円あったことなどによります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、売上債権や棚卸資産が増加しましたが、税金等調整前四半期純利益や減価償却費の計上などにより2,091百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、主として固定資産の取得による支出により、2,289百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、借入金の返済や配当金の支払などにより、588百万円の支出となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べて742百万円減少の7,348百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの業績は、全体としては概ね予想通りに推移しているため、通期の業績予想につきましては2023年5月12日公表の数値から変更しておりません。なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,105	7,365
受取手形及び売掛金	8,002	8,158
商品及び製品	1,109	1,301
仕掛品	2,814	2,940
原材料及び貯蔵品	1,947	1,825
その他	1,030	1,009
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	23,003	22,592
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,091	10,977
機械装置及び運搬具（純額）	7,458	7,126
土地	13,852	13,880
その他（純額）	1,565	1,484
有形固定資産合計	33,968	33,468
無形固定資産		
のれん	1,142	1,072
その他	254	237
無形固定資産合計	1,397	1,310
投資その他の資産	3,000	3,414
固定資産合計	38,365	38,194
資産合計	61,368	60,786

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,087	4,047
電子記録債務	1,155	1,153
短期借入金	1,292	1,244
未払法人税等	709	512
賞与引当金	727	747
その他	3,896	2,564
流動負債合計	11,869	10,269
固定負債		
長期借入金	26	240
退職給付に係る負債	4,276	4,224
資産除去債務	490	499
その他	1,784	1,867
固定負債合計	6,578	6,832
負債合計	18,448	17,101
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,673	6,673
資本剰余金	2,206	2,213
利益剰余金	31,815	32,081
自己株式	△515	△501
株主資本合計	40,179	40,468
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	731	1,008
繰延ヘッジ損益	1	△5
土地再評価差額金	1,540	1,540
為替換算調整勘定	523	731
退職給付に係る調整累計額	△56	△57
その他の包括利益累計額合計	2,740	3,216
非支配株主持分	0	0
純資産合計	42,920	43,685
負債純資産合計	61,368	60,786

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	19,609	17,098
売上原価	12,570	12,326
売上総利益	7,038	4,772
販売費及び一般管理費	3,694	3,854
営業利益	3,343	917
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	30	37
固定資産賃貸料	174	156
補助金収入	—	200
その他	13	66
営業外収益合計	219	461
営業外費用		
支払利息	6	12
固定資産賃貸費用	40	42
その他	109	62
営業外費用合計	156	117
経常利益	3,406	1,262
特別利益		
固定資産売却益	2	9
投資有価証券売却益	—	128
特別利益合計	2	138
特別損失		
固定資産処分損	40	29
減損損失	0	6
その他	—	0
特別損失合計	40	36
税金等調整前四半期純利益	3,367	1,364
法人税、住民税及び事業税	1,014	445
法人税等調整額	45	21
法人税等合計	1,059	467
四半期純利益	2,307	897
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,307	896

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	2,307	897
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	276
繰延ヘッジ損益	△1	△6
為替換算調整勘定	288	208
退職給付に係る調整額	△3	△1
その他の包括利益合計	281	476
四半期包括利益	2,589	1,373
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,589	1,373
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,367	1,364
減価償却費	1,483	1,573
のれん償却額	24	70
減損損失	0	6
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1	△0
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△99	△57
受取利息及び受取配当金	△31	△37
支払利息	6	12
為替差損益 (△は益)	1	21
固定資産売却損益 (△は益)	△2	△9
固定資産処分損益 (△は益)	40	29
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△128
売上債権の増減額 (△は増加)	△866	△148
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,092	△117
仕入債務の増減額 (△は減少)	54	△50
その他	35	△21
小計	2,923	2,506
利息及び配当金の受取額	31	37
利息の支払額	△6	△11
補助金の受取額	30	30
法人税等の支払額	△851	△470
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,126	2,091
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△976	△2,446
有形及び無形固定資産の売却による収入	2	0
有形固定資産の除却による支出	△27	△23
投資有価証券の取得による支出	△2	△3
投資有価証券の売却による収入	—	183
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,005	△2,289
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	16	△158
長期借入れによる収入	—	300
長期借入金の返済による支出	△57	△70
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△627	△629
リース債務の返済による支出	△30	△29
財務活動によるキャッシュ・フロー	△699	△588
現金及び現金同等物に係る換算差額	71	44
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	493	△742
現金及び現金同等物の期首残高	8,315	8,090
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,808	7,348

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

原価差異の繰延処理

定期的な修繕が特定の四半期に行われるために発生する原価差異は、予定原価が年間を基礎に設定されており、原価計算期間末までに解消が見込まれるため、当該原価差異を繰り延べて処理する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	研磨材 事業	化学 工業品 事業	生活衣料 事業	計				
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	8,507	6,130	3,632	18,270	1,338	19,609	—	19,609
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	8,507	6,130	3,632	18,270	1,338	19,609	—	19,609
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	1	1	—	1	△1	—
計	8,507	6,130	3,634	18,272	1,338	19,610	△1	19,609
セグメント利益	2,178	701	400	3,279	63	3,343	△0	3,343

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車関連事業及び化成製品事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	研磨材 事業	化学 工業品 事業	生活衣料 事業	計				
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	5,721	6,386	3,449	15,557	1,541	17,098	—	17,098
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	5,721	6,386	3,449	15,557	1,541	17,098	—	17,098
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	0	0	—	0	△0	—
計	5,721	6,386	3,449	15,557	1,541	17,099	△0	17,098
セグメント利益	154	342	384	880	36	917	0	917

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車関連事業及び化成品事業等を含んでおります。
2 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去が含まれております。
3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。